

会議名	令和4年度坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議
開催日時	令和4年11月30日（水） 午前10時～
開催場所	坂出市役所本庁舎 2階大会議室
出席委員	長谷川 修一、國時 忠能、木原 光治、中橋 恵美子、古田 桂子、橋崎 正伸

会議の経過および発言要旨

1. 開会

2. 議題

(1) 地方創生交付金に係る事業の実施報告について

●会長

それでは、議題（1）地方創生交付金に係る事業の実施報告について、事務局より説明願いたい。

●事務局

(資料1-1、資料1-2により説明)

●会長

ただいまの説明について、ご意見・ご質問があれば願いたい。

●委員

Bizについてはメディアで見ることが多くなってきており、坂出が元気になってきているのではないかと感じが出ており、よいのではないかと思います。

相談件数と、リピートの相談もあるので具体的な案件数も教えていただきたい。

●観光産業課

リピート率については、2回以上利用した方は令和4年8月末現在で76.9%である。
具体的な案件数については、申し訳ないが数字を手元に持っていない。

●会長

繰り返しリピートして利用されているという理解でよいか。

●観光産業課

相談した後に次の相談を予約される方が多く、リピート率が高くなっている。

●委員

件数と開業日を見ると1日4～5件という件数だと思うが、毎日4～5件の新規案件であればタイトだろうと思われる。

また、坂出で起業しようという方がどれくらいいるのかということが、市民のモチベーションになると思うので、具体的な案件数の数字は持っておいたほうがよいと思う。

●会長

対応お願いできますか。

●産業観光課

分かりました。

●委員

B i zのK P Iで、女性やシニア層の創業の相談の中で、実際に創業の実現に繋がった例はあるのか。

●産業観光課

令和3年度の創業についての相談は57名と聞いている。そのうち数件は創業したと聞いている。

●会長

これについても数字の確認をお願いできるか。

●産業観光課

分かりました。

●委員

シニアというのはだいたい60歳ということによろしいのか。

●産業観光課

65歳以上となっている。

●委員

B i z の取組の件で、事業によって生まれた地域課題解決分野の新規事業件数が0件となっているが、1件とカウントされるのはどういった状況か。

●産業観光課

地域課題の解決につながるさまざまなサービス等、民間企業が創業した場合にカウントされる。

●委員

銀行でもB i z と連携して新規創業の話があれば資金面での相談を受けている。
沙弥島のフグがメジャーになってきていると聞いており、地域資源を活用した成功事例であると思っているが、既存事業であるので、この事例には該当しないのか。

●産業観光課

そうであると考えている。

●委員

銀行もぜひB i z と積極的に連携して事業ができればと考えている。

●委員

先ほどからの件数については、あいまいにせずその都度分析をして次につなげていくことが大事であると思われる。その間に特異な例があれば、メディアに発信していただきたい。

●委員

交流の里おうごしの施設について、団体が使用する場合があるが、その際の新型コロナウイルス感染症対策はどのようにしているのか。

●生涯学習課

感染症対策については、従来どおり手指消毒や手洗い、密にならないなどの対策を施している。

●会長

交流の里おうごしの利用者の減少については、団体利用が減っているのか、個人利用が減っているのか分析しているのか。

●生涯学習課

個人利用ができず、団体利用のみである。

●会長

団体利用のみが減少しているという認識でよろしいか。

●生涯学習課

そのとおりである。令和2年については、新型コロナウイルス感染症の影響で閉館になる日数が増え利用者が減少したが、次第に通常の生活に戻るにつれ、微増ではあるが利用者の回復傾向に繋がっている。

●委員

利用促進につなげるのであれば、施設利用者の自己責任にせず、施設管理者として新型コロナウイルス感染症の対策をしていることをアピールすることで利用者の増につな

がると思われる。

●生涯学習課

了解いたしました。

●会長

これからは、ウイズコロナというこれまでとは違うステージになってきているので、安心して利用できるような環境づくりをお願いしたい。

●会長

ほかにありませんか。

それでは、「交流の里 おうごし改修整備事業及び設備整備事業」及び「Bizを中心とした地域内チャレンジ促進事業」については、有効であったと判断してよろしいか。

(委員一同承認)

●会長

有効であったものといたします。

また、改善点については、意見を付しましたので、これを参考に事業を進めていただきたい。

(2) 第2期坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI達成状況について

●会長

続いて、議題(2)第2期坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI達成状況について事務局より説明願いたい。

●事務局

(資料2により説明)

●会長

ただいまの説明について、ご意見・ご質問があればお願いしたい。

●委員

新型コロナウイルスの影響を受けたのといった報告が多くあったが、その中で、オンラインで可能なものも多くある印象を受けた。まち歩きというのも企業や他の自治体もオンラインを活用している。それぞれの部署においてオンラインでできたものについて再度確認をしてほしい。

●事務局

新型コロナウイルスの影響により、市職員の研修や会議についてはオンラインを活用している。今後、ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえてイベント等についてオンラインで可能かどうか検討してまいりたい。

●委員

3～5人の小規模なものでもオンラインでイベントを開催し続けることで、県外・市外の方が興味を持ってアクセスしてくれることもあるので、こちらの間口を開いておくことも大事であると思われる。オンラインでするにもどのように周知していくかが今後の課題としていただきたい。

●委員

乳幼児健診等未受診者全員へのフォローアップで、2回連続未受診の方は坂出市で何件あるのか。

●けんこう課

数名である。

●委員

管理職等への女性の登用について、坂出市では係長以上が管理職とのことであるが、係長にはどのようにすればなれるのか。経験年数により係長になれるのであれば、目標値を33%より高くできるのでないか。課長級の女性職員を目標値としている市もあるの

で、何人で何%いるのかを教えてください。

●職員課

係長への昇任については、評価と上司の推薦が必要である。また、職員の年齢層が上がると女性より男性のほうが多くなっているが、若年層では女性職員の方が高い比率となっている。今後、年数が経過するごとに実績値があがってくると見込んでいる。

●会長

ほかにありませんか。

●委員

坂出駅の乗車人数があるが、ぜひ坂出駅で降りる人数も把握してほしい。坂出駅降りてもらおうということが必要となってくるので、それを意識した取り組みを重点的に実践してほしい。また、次の列車を待つ人達をどう呼び込むか、駅前再開発は市民だけではなく、JRで県外、市外から訪れる人を取り込めるため、他市より大きなメリットがあると思われる。

●委員

心をはぐくむ講師派遣事業については、予算に見合った講師の選択が難しいとあるが、先ほどのオンラインを取り入れれば選択肢も広がると思う。

●委員

移住促進・空き家改修等補助事業の10人という数字について教えてください。また、現在こういった移住促進政策をしているのか。

●事務局

1年に2名、5年間で10名という目標値設定している。移住促進・定住人口の増加については、どこの自治体も大きく課題となっており、本市でも重要であるという認識である。移住フェアについては、令和3年度については本市もオンラインで参加し、コロナが落ち着いた令和4年度は東京へも参加している。あと補助事業として空き家改修補助事業、新婚世帯家賃補助金等、いくつか取り組んでいる。一方、本市は情報発信不

足については十分認識しているところである。補助金で移住者を奪い合うのではなく、住んでみたいと思われるようなまちを目指していきたい。

●委員

移住に関しては、体験型の施策を増やしていくことも大事であり、他課と連携しながら進めていけば市の魅力発信につながると思う。三金時の農業体験を募集するだけでも、県外からたくさん人が来そうと感じる。

●委員

循環バスについての利用者の年齢層を教えてください。また、災害発生時に要支援者が使える車両なのか。

●事務局

循環バスは高齢者の利用が大部分と考えている。災害発生時に、市街地は徒歩避難を基本想定としており、今のところバスを生かす計画はない。

●委員

様々な情報が流れている現在、必要な情報が得られる情報のあり方、また興味を持った人が必要な情報を得ることのできる情報発信の方法について、市で1カ所に取りまとめるとよいのではないかと。

●秘書広報課

必要な情報を必要な方にいかに早く届けることができるかについては、広報、HP、ツイッターで行うことが多く、今年の3月よりラインの活用を強化しているところである。

●委員

まちづくりアンケートで病院が充実しているとの意見があり、市外からも訪れているのではないかと。隣町までルートを伸ばす等、現在検討していることがあれば教えてください。

●事務局

先日のパブリックコメントで多かった意見は、お年寄りの方の買い物ニーズ、主に王越からハローズへ行けないかであった。これに関しては、乗り換えで便数を増加して対応したところである。また、行政区をまたいでのルートについてのニーズも聞いているので、各自自治体と協議しながら検討を進めていく。

●委員

新婚世帯家賃補助事業については、LGBTへの対応は可能か。今から検討するのか。

●事務局

新婚世帯家賃補助事業については、すでに廃止となっている制度であり、結婚新生活支援事業へと移行している。本市では、パートナーシップ宣言はしており、結婚新生活支援事業導入時に検討はしたが、実現には至っていない。

●委員

企業撤退に対し、行政が何もできていないのではないかと。既存の企業を大事にして、ぜひ就職したい街、住みたい街にしてほしい。守らなければいけないものが守れていないのは、行政の責任ではないか。うどん、歴史、学校、病院などポテンシャルの高い坂出がなぜ人口減なのかかわからないので、ぜひこの会議で何か発掘できたらいいと思う。

●会長

私も同感で、この会はKPIの進捗管理となっているので、これから戦略をたてて、坂出が沈没しないように守る必要があると考えている。次は実のある会議にしないとモったいないと感じる。

●委員

銀行の坂出支店の業績は地域の繁栄なくしては成り立たないので、我々も市に協力していきたい。情報発信については、人目に付くところに広報したり、ラインも配信されているが、もう少し目に付くように工夫してはどうか。地域が元気になってほしいので、本部の方へ個別に相談することも可能である。

●委員

坂出も石炭を扱っているが、石炭に変わる新たな水素やLNGといったエネルギーが生まれる。坂出は四国の中でエネルギー拠点として生き残っていけるポテンシャルがあると思うので、ニューポートプランをしっかりとやってほしい。

(3) 第2期坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改訂について

●会長

続いて、議題(3)第2期坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改訂について事務局より説明願います。

●事務局

(資料3により説明)

●会長

ただ今の説明について、ご質問・ご意見等はないか。

それでは、お諮りする。坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について、資料3のとおり了承することとしてよろしいか。

(委員一同承認)

●会長

それでは承認することとする。

5. その他

●会長

次に、その他で何かありませんか。

●会長

高校生が参加した坂出未来会議について先日報道されていたが、過去の総合戦略推進会議にあたって、高校生が市外へ出ていくことで地域が衰退する、高校生の意見を聞く

必要があると提言した経緯がある。

また、駅に学習スペースほしいなどの高校生の意見を反映していただき、引き続き、このような取り組みを続けてほしい。

6. 閉会

以上で、坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を終了する。